

教師用 指導案

1. テーマ・授業名

テーマ1 パラリンピックの価値

授 業 2 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！（香西宏昭選手編）

パラリンピックの価値については、単独のユニットで授業を行ってもよいが、1-2、1-3のうち1つと1-4を合わせて2つの授業で完結すると、より理解が深まる。1-2、1-3については、ともに「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について学習するため、学校の状況に合わせていずれか1つを選択する。

1-2「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！（香西宏昭選手編）

1-3「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！（村岡桃佳選手編）

1-4「公平」について考えてみよう！

2. 授業の目標

- ・パラリンピックを象徴する価値（「勇気」「強い意志」「公平」「インスピレーション」）のうち、「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について理解する。
- ・香西選手のパラリンピアンとしての活躍やそこに至るまでの日々のようすを通して、「インスピレーション」を得るとともに「勇気」「強い意志」について理解し、「自分にとって〈勇気〉や〈強い意志〉を持って成し遂げたい目標」を確認する。さらに、目標を達成するために何をすべきかをイメージできるようにする。

3. 本時の位置づけ

- ・総合的な学習の時間での活用。
 - ・中学校では、社会（公民）の「基本的人権」、道徳の「他者の理解」「共生社会」などの単元における事例学習として活用。
 - ・高等学校では現代社会、政治・経済での「基本的人権」「社会保障」などの単元における事例学習として活用。
 - ・保健体育の「体育理論」において、スポーツへの多様な関わり方、スポーツの文化的意義、国際的スポーツ大会の役割、人々を結びつけるスポーツ、などと結びつけ活用。
- ※その他、学級活動や学年集会などの時間を活用してもよい。

4. 指導の留意点、工夫点

- ・ トップアスリートとして活躍するに至った過程で、「勇気」「強い意志」がどのような意味を持っていたのかを、障害の有無にかかわらず考えさせたい。
- ・ パラリンピアンが特別な能力を持った人ではなく、自分たちと同じように、苦手なことや困難に向き合ったり、地道な努力をしたりしていることを理解させ、そのような姿勢の大切さに気づかせたい。
- ・ 香西選手の喜びだけでなく大変だったエピソードも取り上げ、またそれをどう乗り越えたのかを想像することを通してインスピレーションを得ると同時に、自分にひきつけて考えられるようにする。

主体的・対話的な学習を目指すために、Think Pair Share の活動を取り入れています。

T Think…一人で考える。

P Pair…隣の人と意見交換する。

S Share…発表を通してクラスやグループのみんなと考えを共有する。

5. 準備物

- ・ 授業用シート (1-2)
- ・ 教師用授業ガイド (1-2)
- ・ 生徒用ワークシート (1-2)
- ・ 映像資料①：香西選手ってどんな人だろう
- ・ 映像資料②：香西選手からのメッセージ
- ・ 映像資料③：東京 2020 ダイジェスト「Tokyo 2020's Most Emotional Moments」
- ・ 映像資料④：I'mPOSSIBLE の由来

映像資料①



映像資料②



映像資料③



映像資料④



〈展開案〉※【 】内は経過時間

時間	学習活動 ○生徒の活動 (引き出したい生徒の声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
導入 (10分) 【10分】 映像 3分 15 秒	P 香西宏昭選手の映像を見て、感じたことを発表しよう！ ○パラリンピアン香西宏昭選手の映像を見て、感想を言う。 ・ナイスシュートだった！ ・3ポイントシュート かつ いい！	○ T P S の説明をする。 ※導入で資料映像③東京 2020 ダイジェストを見せよう。 ○香西選手を知っている生徒がいれば、発表させる。 ○力強いプレーの様子や、外国で生き生きと活躍している様子を見せることで、アスリートとしてのすばらしさを感じさせる。 ○初めて見た印象を確認する。	・映像資料③：東京 2020 ダイジェスト ・授業用シート (1-2) ・教師用ガイド (1-2) ・生徒用ワークシート (1-2) ・映像資料①：香西選手ってどんな人だろう
展開① (15分) 【25分】 目安 作業 5分 発表 5分 映像 2分 15 秒 解説 2分 45 秒	T S 香西宏昭選手について知ろう ○「すごいと思ったところ」と「大変そうだったところ」について、2色で下線を引かせ、数名に発表させる。 (下線部の例) ・朝練をしてから登校していたこと ・一人でアメリカに行ったこと ・全米選手権 2 年連続で年間 MVP を獲得したこと ・アメリカでの一人暮らし ・英語の勉強 ・イリノイ大学を卒業すること ○インスピレーションを受けたことを書いて発表する。 ○発表のあと、香西選手がどのようにして目標に向かって歩んだのかを確認する。 ○映像資料②を見る。	○インスピレーションを受けたこと (心を揺さぶられたことや、刺激を受けたこと) をワークシートに記入させ、数名に発表させる。 〈以下は授業シートに沿って進める〉 ○香西選手がなしとげたかった目標を確認。 ○目標達成の前に立ちはだかるハードルを確認。 ○どのようにしてハードルを乗り越えたのか、その結果、香西選手はどのようになったのかを確認。 ※最終的に香西選手は「勇気」「強い意志」を持って目標に向かって前進していることを理解させる。	・授業用シート (1-2) ・教師用ガイド (1-2) ・生徒用ワークシート (1-2) ・映像資料②：香西選手からのメッセージ

時間	学習活動 ○生徒の活動 (引き出したい生徒の声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
展開 (15分) 【40分】	T S 自分にとって「一歩」とは何だろう？ ○これまでの学習を踏まえて、次の3つについてワークシートに記入し、クラスで共有する。 ・自分にとって「勇気」「強い意志」を持って成し上げたいこと（目標） ・自分の目標達成の前に立ちはだかるハードル ・ハードルを越えるために、何をしたらよいか	○映像最後にある「一歩踏み出せば世界が変わる！」というメッセージを振り返り、自分にとっての「新たな一歩」とは何かを考えさせる。 〈発問例〉 香西選手の目標は、車いすバスケットボールがもっとうまくなって、世界で認められる選手になることだったね。そのためにいろいろなハードルを、勉強とバスケットボールを両立させて乗り越えていったよ。では、きみたちにとって「勇気・強い意志」を持って成し遂げたいことって何だろう？	・授業用シート（1-2） ・教師用ガイド（1-2） ・生徒用ワークシート（1-2）
まとめ (10分) 【50分】	S 自分にとって「一歩」とは何だろう？ ○ワークシートに記入したことをグループで共有する。 〈自分の目標〉 ・留学を実現する。 ・部活で都大会（県大会）に出場する。 〈ハードル〉 ・英語が苦手である。 ・部活のチームでは得点力がどのチームにも劣る 〈ハードルをクリアする手立て〉 ・英会話スクールに行く。 ・シュートを1日200本練習する。 ○パラリンピックの価値の意味を確認する。	〇全員に発表の場を持たせるため、グループ内で発表を行う。 ○香西選手が特別な人ではなく、どんな人でも勇気と強い意志を持てば一歩踏み出せることを確認する。 ○本教材の名前が持つメッセージを伝える。不可能（Impossible）だと思えたことも、ちょっと考えて工夫しさえすればできるようになる（I'm possible）。 注）正しい英語表現では「It is possible for me.」。 ※必要に応じて参考映像資料（I'mPOSSIBLEの由来）を見せる。 ○スライド14（パラリンピックの価値）を見せて、パラリンピックの4つの価値の意味を確認する。 ※特に「勇気」「強い意志」「インスピレーション」についてはしっかり確認できるようにする。	・授業用シート（1-2） ・教師用ガイド（1-2） ・生徒用ワークシート（1-2） ・映像資料④： I'mPOSSIBLEの由来